

管内の概要について

管内の概要 (但馬県民局「但馬地域ビジョン」より)

地勢・気候

但馬は、兵庫県北部に位置し、北は日本海、南は播磨地域及び丹波地域、東は京都府、西は鳥取県に隣接し、東西・南北方向それぞれ約 60km にわたり、面積は 2,133.44 km²と県全体面積の約 1/4 を占め、東京都の総面積に匹敵する広大な地域です。

豊かな自然環境に恵まれ、山陰海岸国立公園、氷ノ山後山那岐山国定公園及び但馬山岳、出石糸井、朝来群山、雪彦峰山の 4 つの県立自然公園があります。水量豊かな円山川をはじめ竹野川、矢田川、岸田川等が日本海に、市川が瀬戸内海にそそいでいます。

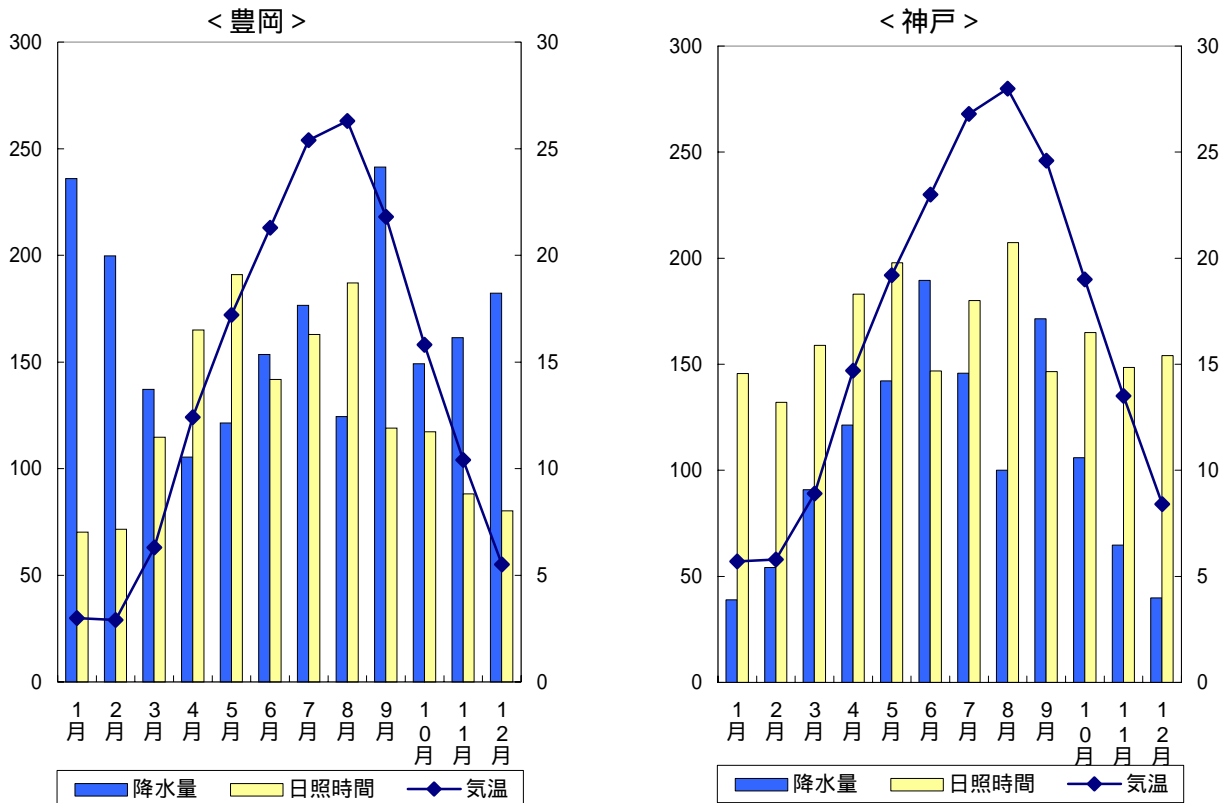
全般に山が多く、兵庫県最高峰の氷ノ山(ひょうのせん)1,510mをはじめとする 1,000m級の山々が連なり、その間に平地が形成されています。また、火山帯地域でもあり、城崎温泉や湯村温泉をはじめ各地で温泉が湧出しています。

植生は、氷ノ山等の山頂部には自然林であるブナ林がみられますが、大半はコナラ等の落葉広葉樹やアカマツなどからなる里山林やスギ、ヒノキ等の人工林となっています。

コウノトリをはじめ、特別天然記念物であるオオサンショウウオやイヌワシ等も域内に生息しており、これらの希少な動物の生息は但馬地域の恵まれた自然を象徴しています。

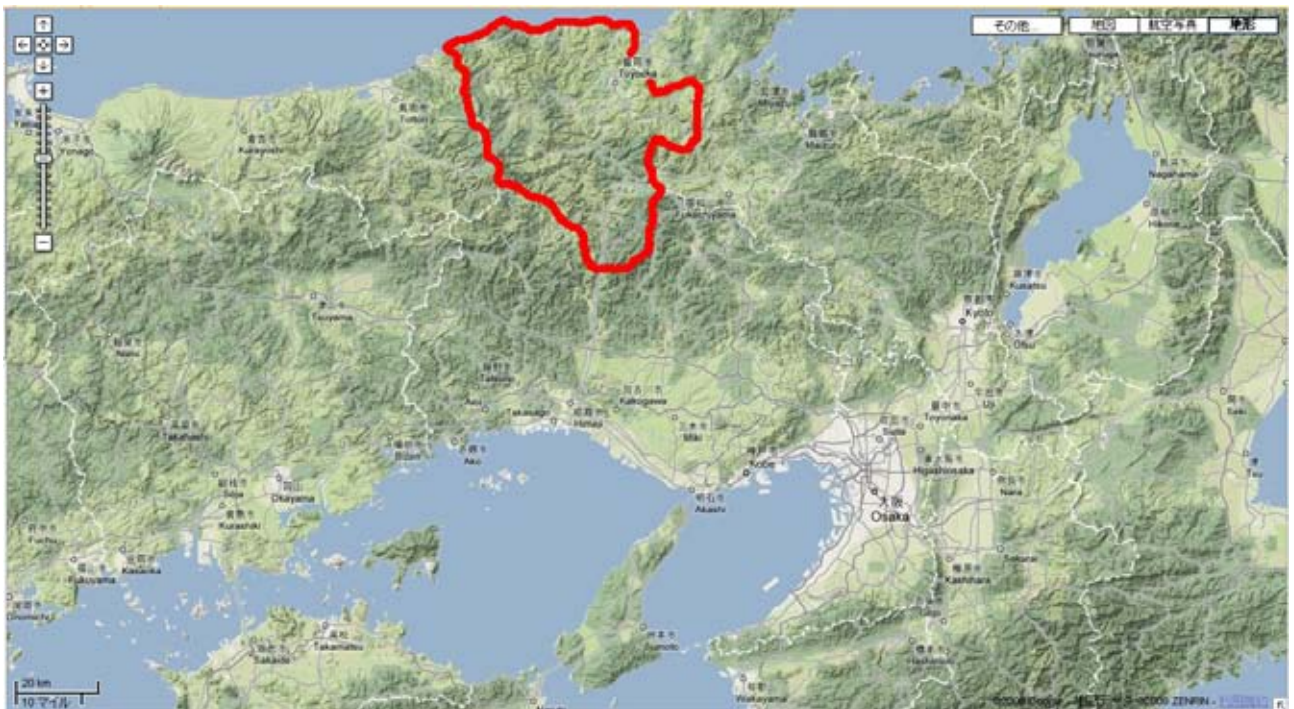
気候は日本海型気候で冬期はシベリアからの北西の季節風の影響を受けて降雪量が多くまた、中央山岳地帯は寒暑の差が大きい内陸型の気候となっています。

気象の状況 (過去 30 年の平均値 気象庁ホームページより)



各項目、左軸が平均降水量(単位:ミリ)と平均日照時間(単位:時間)、右軸が平均気温(単位:度)

但馬の位置 (Google map より)



但馬の地形 (Google map より)



歴史・文化

古代の但馬は、「天日槍（あめのひぼこ）」の渡来伝説にも見られるように、大陸や朝鮮半島との関係が深く、日本の文化・経済の表玄関であったと言われています。奈良時代には、但馬地域も但馬国となり、その中心地が但馬国府として日高町に置かれたほか、江戸時代には、出石・豊岡・村岡に藩が、生野銀山には代官所が置かれました。竹野・香住などは西まわり北前船の寄港地として栄えました。

明治4年に但馬・丹後・丹波の一部で構成する豊岡県が成立しましたが、明治9年に兵庫県に編入され、今日に至っています。

但馬地域からは、青谿書院の創設者である池田草庵、琵琶湖疎水を開いた北垣国道、明治の教育者浜尾新、日本近代眼科の父河本重次郎、肅軍演説を行った政治家斉藤隆夫、天才歌人前田純孝、世界の冒険家植村直己など多くの人材を輩出しています。

また、文化財としては、円山応挙の描いた大乘寺のふすま絵、鉱石運搬のために架けられた日本最古の鑄鉄橋である神子畑鑄鉄橋、わが国屈指の山城である竹田城などが多数存在しているとともに、数多くの国・県指定の無形民俗文化財や祭りがあります。

人口

人口は191,211人と県全体（5,590,601人）の3.4%の比率となっています。昭和22年の265,876人をピークに減少し続けており、この平成12年から平成17年の5年間においては約9,600人の減少となっています。（「国勢調査（平成17年10月1日実施）」による速報値）

さらに県下において、総人口に占める65歳以上の人口が最も多く、高齢化率は27.8%となっています。年少人口割合・生産年齢人口割合・老年人口割合（カッコ内は県下平均）は、それぞれ、14.3%（14.2%）・57.8%（65.6%）・27.8%（19.8%）であり、県下平均に比べ、生産年齢人口の割合が低くなっています。

国立社会保障・人口問題研究所が行った人口の将来推計によると、但馬の人口は、一貫して減少傾向をたどるものと推測されています。

産業

但馬の市町総生産額は5,966億円で、県下の3.1%となっています。産業別で見ると、第1次産業が196億円、第2次産業が1,299億円、第3次産業が4,722億円となっています。（兵庫県統計課「平成17年度市町民経済計算」より）

第1次産業

県下の第1次産業の総生産額1,026億円に対して、但馬の第1次産業の総生産額は196億円で19.1%を占めています。その内訳は、農業が101億円、林業が13億円、水産業が80億円となっています。

農業では、ピーマン・だいこん・キャベツ・ほうれんそう・ねぎ・黒大豆・梨が主要な作物として作られるとともに、優れた肉質を誇る但馬牛が各地で生産されています。また水産業では、3つの地方港湾と15漁港をもとに、沿岸・沖合漁業が営まれています。水揚げされる主な魚種は、マツバガニ（ズワイガニ）、ホタルイカ、スルメイカ、ベニズワイガニ、アカガレイ、ハタハタなどであり、全国でも屈指の水揚げ量となっています。

第2次産業

県下の第2次産業の総生産額5兆7,485億円に対して、但馬の第2次産業の総生産額は1,299億円で2.2%を占めています。その内訳は、鉱業42億円、製造業が1,039億円、建設業が217億円となっています。

製造業の主なものは、食料品、電気、機械、金属、繊維、かばん等となっています。また伝統的な地場産業は、豊岡かばん、杞柳製品、但馬ちりめん、出石焼、日高の畳、竹田の家具、和田山のばね等があります。

第3次産業

県下の第3次産業の総生産額13兆6,139億円に対して、但馬の第3次産業の総生産額は4,793億円で3.5%を占めています。

内訳は、電気ガス水道業が288億円、卸売・小売業が550億円、金融・保険業が514億円、不動産業が1,341億円、運輸・通信業が310億円、サービス業が1,260億円、公務456億円となっています。

観光

主要な観光地として、古くから名湯として知られる城崎温泉や湯村温泉のほか、但馬の小京都と呼ばれ皿そばが有名な出石などがあります。また豊かな自然を活かし、神鍋高原や八千高原等のスキー場のほかに、竹野浜や浜坂ビーチなどの海水浴場なども点在しています。

但馬における総生産に占める観光関連産業の位置づけをみると、観光消費による付加価値誘発額は880億円と算出されており、総生産額に占める割合は14.3%(県下平均5.7%)となっていることから、但馬においては観光業が非常に重要な産業となっていることが伺えます。

但馬への観光入り込み数は、ここ近年微減しており9,960千人となっています。目的別入り込み数は、温泉、施設見学、スキー・スケート、まつり、ゴルフ・テニスの順となっています。(「平成17年度観光客動態調査報告書」)

交通

主要道路は、東西軸として、国道9号線・178号線などのほか、南北軸として、国道312号線などの国道が中心になって構成されています。また高速・広域自動車道として、姫路方面からは播但自動車道が、丹波方面からは北近畿豊岡自動車道が、ともに和田山まで伸びており、以北については現在延伸工事が行われています。

鉄道は、JR山陰本線・播但線、北近畿タンゴ鉄道宮津線が管内を走っています。また、平成6年に開港した「コウノトリ但馬空港」も、但馬の空の玄関として利用されています。

管内の概要

	但馬全域	豊岡市	養父市	朝来市	香美町	新温泉町
人口（H17 国調）	182,946 人	89,205人	28,306人	34,785人	21,438人	17,466人
世帯数（H17 国調）	59,654 世帯	29,593世帯	9,210世帯	11,798世帯	6,624世帯	5,538世帯
面積（H15.10）	2,030.52 km ²	697.66km ²	422.78km ²	402.98km ²	369.08km ²	241.00km ²
人口密度（H12 国調）	90.1 人/km ²	127.9 人/km ²	66.9 人/km ²	86.3 人/km ²	58.1 人/km ²	72.5 人/km ²
高齢者比率（H12 国調）		23.4%	29.2%	26.2%	26.9%	27.1%
昼夜間人口比 （H12 国調）		102.1%	99.7%	100.5%	95.4%	97.0%
産業別就業人口 （H12 国調）	95,214 人	47,388人	14,399人	17,655人	11,845人	3,927人
第 1 次産業	8,848 人	3,581人	1,397人	1,264人	1,844人	762人
第 2 次産業	31,623 人	15,485人	4,873人	6,429人	3,847人	989人
第 3 次産業	54,447 人	28,179人	8,108人	9,855人	6,139人	2,166人
市町内総生産 （H15 年度） （ 帰属利子控除後 ）	585,291 百万円	297,074百万円	87,361百万円	121,836百万円	61,438 百万円	44,873百万円
第 1 次産業	18,426 百万円	7,320百万円	2,886百万円	2,788 百万円	4,406 百万円	3,598百万円
第 2 次産業	133,760 百万円	61,568百万円	19,542百万円	40,388 百万円	11,349 百万円	6,474百万円
第 3 次産業	459,510 百万円	241,563百万円	68,866百万円	84,146 百万円	48,449 百万円	36,821百万円
就業者 1 人あたり		6,266 千円	6,337 千円	6,459 千円	5,675 千円	5,073 千円
主要観光地利用者推計 （H15 年度）	9,593 千人	5,097 千人	1,074 千人	754 千人	1,376 千人	1,292 千人
日帰り・宿泊者別	9,593 千人	5,097 千人	1,074 千人	754 千人	1,376 千人	1,292 千人
日帰り客	7,267 千人	3,759 千人	857 千人	647 千人	1,005 千人	999 千人
宿泊客	2,326 千人	1,338 千人	217 千人	107 千人	371 千人	293 千人
県内・県外別	9,593 千人	5,097 千人	1,074 千人	754 千人	1,376 千人	1,292 千人
県内客	4,551 千人	2,093 千人	630 千人	647 千人	666 千人	515 千人
県外客	5,042 千人	3,004 千人	444 千人	107 千人	710 千人	777 千人

出典：兵庫県作成 市町要覧ホームページより抜粋（平成 18 年 7 月 1 日現在）
<http://www.sichouyouran.jp/index.html>

農業に関する指標

	豊岡市	養父市	朝来市	香美町	新温泉町
総農家戸数(戸)	5,799	3,080	3,006	1,886	1,698
うち専業(戸)	546	254	358	148	164
耕地面積(㌧)	5,260	1,620	1,840	1,630	1,260
うち作付延べ面積	4,080	1,130	1,420	888	851
うち稲	3,090	775	1,060	623	636
うち豆類	76	23	90	50	32
うち果樹	63	40	20	52	25
うち野菜	367	169	153	89	80
農業算出額(千万円)	956	425	411	191	177
うち米	399	95	135	76	78
うち雑穀・豆類	10	2	20	4	3
うちいも類	5	2	3	2	2
うち野菜	106	59	70	18	17
うち果実	14	8	3	17	8

出典：平成 18 年次 但馬の農林水産業